

図1 労災事故と平均年齢 労災件数 ■ 平均年齢 ◆
 (おんが・北九州地域農業者指定農機労災加入組合より)



声をつなぐ!!

TAC通信

TOKOTON ATTE COMMUNICATION



農業者労災 ご存じですか?

JA北九は「おんが・北九州地域農業者指定農機労災保険加入組合」の事務を行っています。現在135名が加入していますが、毎年平均2件以上の労災事故が発生しています。農業者の高齢化が進む中、労災事故のほとんどが65歳以上です。自分はまだまだ大丈夫と過信せず、改めて農作業安全を見直してみませんか。

労災保険は、本来労働者の負傷・疾病・障害・死亡などに対して保険給付を行う制度ですが、事業主である自営農業者も**加入組合を通して特別加入**することができます。TACが加入組合の事務を手伝う中で、遭遇した労災事故を紹介します。

農業者の労災保険

草刈り機

畔で草刈り中、足を滑らせ水路に転落し、腰を強打。通院、休業補償。

定植機

軽トラから定植機を下す際、ブリッジの角度が悪く定植機が転覆。下敷きとなり肋骨にひび。通院、休業補償。

トラクター

肥料散布中に誤動作によりトラクターのアタッチメントと本体との間に腕を挟まれ骨折。通院、休業補償。

播種機

播種機が正常に動作しているか確認中に飛び出た金具に頭をぶつけ裂傷。通院。

*当組合で加入できる保険は国から指定された農業機械（耕うん機、農業用トラクター、田植機、動力草刈り機など）の作業中の事故に対する労災です。



詳しくは厚生労働省のホームページまで
<https://www.mhlw.go.jp/new-info/kobetu/roudou/gyousei/rousai/040324-9.html>

お問い合わせ
 営農課 ☎ 619-2368

農林水産省の調査によると、令和3年に発生した農業従事者10万人当たりの事故死亡者は10.5人と、他産業と比べて高い水準が続いています（建設業は6人！）。事故原因を確認すると、**農業機械を使った作業中の事故が全体の7割を占めます。**日頃の農業機械の点検・安全確認はもちろんです。万が一の場合でも、農業経営を維持し家族の生活を守るため、「農業者労災」の活用をご検討ください。